

V状の像はTVカメラの吊下げ  
 吊上げの記録) TVカメラを  
 その層の附近に定着させD. S.  
 Lを観察録画した。マリンスノ  
 ーと称せられる様なものも見  
 たが、約2cm程度と思われる透  
 明なもので泳いでいる様でもあ  
 り潮に流されている様でもある。  
 この像は漁場いたるところで見  
 られ照明により白色に反射し  
 所在がわかるが、海底に近い時  
 海底にその影がうつり紡錘形



第12図 テレビ照明で光るプランクトン  
 (海底)

いわゆる魚形をしているが鮮明でない、西村技官等が稚魚ネットにより、Euphausia  
 が多かつたと発表されている。今回は稚魚ネット不備のため採集はできなかつた。

おり餌をTV枠につけて吊下げると、TVの照明灯火に関係なく無数に集まり又この  
 灯光の点滅による刺激にも反応も示した。

以上水中TVによる観察結果であるが透明度が約5~8m程度で水深70~110mでも  
 一応海中、海底の観察は可能である。特に北洋の如き気象条件の悪いところでは水中TVも  
 有効であると思つた。向潮流は最高8'から最低0.1'を記録した。狭い視界であるがこれに  
 カニ像なり魚類なり出現すれば漁獲も良かつたこともあつたのと考え合せれば水中TVの  
 利用方法や運用方法の開発によりカニ集団の探査も可能であると考えている。

なお、水中照度計、潮流計、プランクトンネットの不備により一部測定出来なかつたのが  
 残念であつたがその点40年度の西村技官報告と大差ないと思われるので参照された。

## 5. 総合討論

座長 松本 信

(宇田：東海大) 武富さんの実験で、魚群の資源量を実際にみるには魚探の映像で確認し、そ  
 こを曳網した実際の漁獲量と比較すると効果があると思うが。

(武富：東海水研) テレビ像にカニが出て来る時には必ずカニ漁があつた。テレビ映像時間  
 10~15分に1尾程度のカニが出て来た時には大漁をした(カメラのとらえた面積2m  
 四方)。従つて、カメラ映像から資源量推算も可能ではなからうか。

(池田：遠洋水研) 魚探による資源量推算法を開発中のイギリスでは、昨年および一昨年ケー  
 ブ・タウン沖のメルルーサ漁場でソーナーを用いて魚群量を推定している。  
 それによると魚群の体長組成まで出しているが、魚探による資源量推算は可能のように思う。

(宇田) 漁獲率の推定はなされているか。

(池田) そこまでは、一寸困難である。

(宇田) 新漁場開発に対し、どのようなことを特に考えているか、業界の方へ伺いたい。

(業界) 未操業海域の調査ということになるが、ソーナーなどを備えた調査専門の船を出すことを考えている。また、ベーリング海では、既漁場の水深以深および今迄操業されていない、底質の粗い海域を調査したい。

(宇田) 水産庁の方針は？

(池田) 水産庁としては、日本に近く比較的操業海域の広い所が条件になつていてはではないか。

なお、インド洋沿岸(ベンガル湾など)には広い大陸棚があるが、この海域には未利用資源があるのでないか。

(宗高：南方漁業開発KK) ヒイロギなど魚族はいるらしいが、市場価値が低いようである。

(松本：日本トロール底魚協会) ベンガル・パキスタン沖で業界が目したのはエビを主としたため、専管水域、合弁事業等の諸問題があるのでないか。

(宇田) アフリカ北西ではイカ、タコが多いが、他にもまだ商品価値の高い未利用海域があると考えられる。今後調査を進めるとすれば、可能性のある海域は？

(松本) マツイカの分布に関する情報はあるが、コウイカなどについては極めて少ない。

(池田) コウイカ分布域の海洋構造の特徴としては、大陸棚に伴う湧昇域が考えられる。例えば、その好例としてアフリカ北西岸のようなコウイカ漁場があげられる。

(池田) 地中海にコウイカが分布しているという情報があつたら教えて欲しい。

(松本) 地中海については知らないが、ビスケー湾で多量のタコが獲れたという話が一部に流れていたが、その後はどうなつているか。

(田村：日水) 海洋開発に関連もあり、大陸棚問題が出ている底魚漁業の規制に関連する可能性がありや。あるとすればその方向如何。

(恩田：水産庁) 現在のところ対象となつていない。それ程の心配は、今のところないのではなか。エビ、カニ以外に問題はない。

(小野：水産庁) ①トロールに入網したオヒヨウの放棄に対するトロール漁民の不満と関連して、オヒヨウの延縄漁業とトロール漁業との間に紛争はないか。

②カナダのスプルールスによると、フイーンシャーロットとバンクーバー島との間の水域は、カナダの内水にしようと考えているとのことであるが、これに関連して米加の間に紛争はないか。

(恩田) ①オヒヨウ延縄との紛争は、トロールと延縄を兼業としている当時にけなかつた。最近とは別々になつて来たため、トロール専業船からはオヒヨウの漁獲希望がある。トロール網に入網したオヒヨウを投棄するのは困るので、入網した時点ですでに死んでいたオヒヨウは、船内消費程度ならば利用しても良いのではないかという点が問題となつていた。

入網したオヒヨウに対しては利用可となると、オヒヨウ専門に漁獲する可能性も出て来るので、そうなる困る。

②数年間トニブルがあつた。避難していると、沿岸警備隊が来て排除したが、最近そういうことけない。